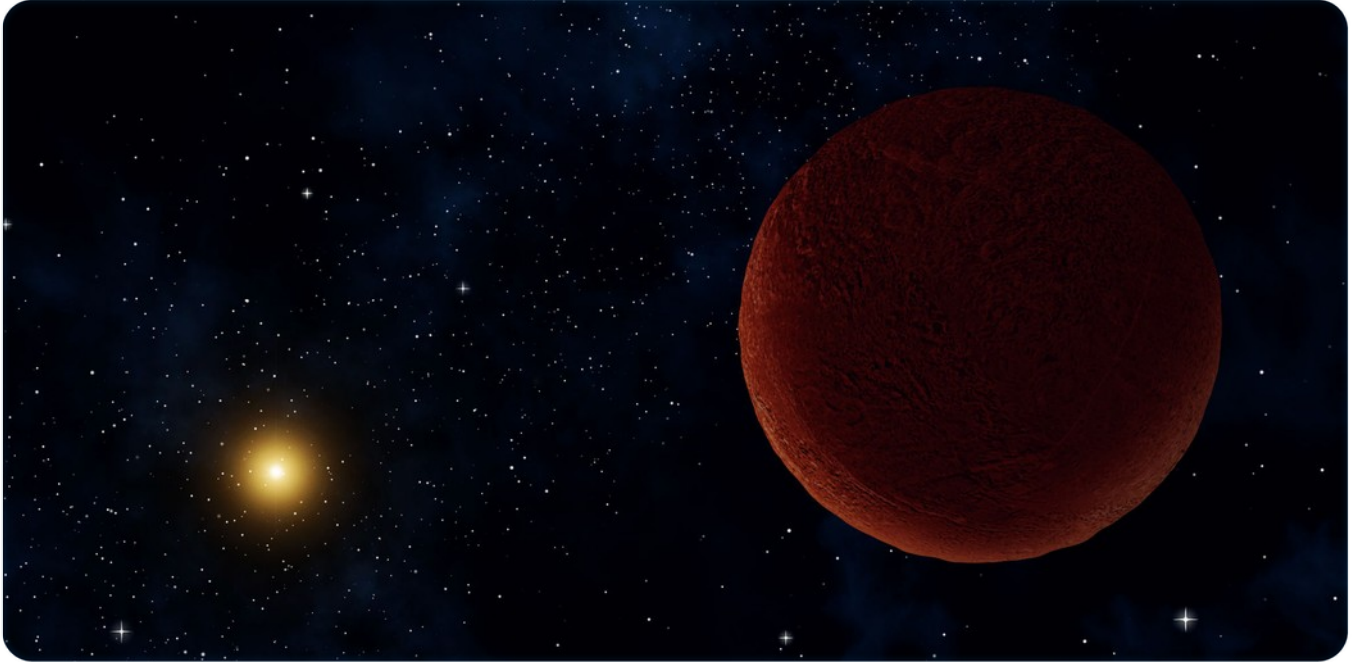




## 遠くにいる小天体、ディーディーくんを紹介します



★ 冥王星（めいおうせい）は今では、「準惑星（じゅんわくせい）」とよばれる分類になったのを知っていますよね。私たちの太陽系には、冥王星のほかにケレス、ハウメア、マケマケ、エリスの4つの準惑星があります。そして近いうちにもう1つふえるかもしれません。その天体のニックネームは、ディーディー。

では、準惑星って何でしょう？

準惑星は、惑星のように太陽のまわりを回る小さな天体です。それに対して衛星（えいせい）は惑星のまわりを回っています。そして惑星のように球形をしています。実際、準惑星とふつうの惑星のたった一つのちがいは、準惑星は、その軌道（きどう）近くの「お掃除」がきれいにできておらず、小惑星やチリが散らばったままになっていることです。

ではディーディーはこれらの条件にすべて当てはまるのでしょうか？ 今のところはまだわかりません。

太陽からディーディーまでの距離（きょり）は、地球までのほぼ100倍、冥王星までの3倍もあります。これまで太陽系で発見された天体の中で2番目に遠いのです（1番遠いのは準惑星エリスです）。

とんでもなく遠くにあるため、ディーディーは太陽のまわりを一周するのに1100年以上かかります。遠いディーディーの観測はものすごく難しいので、くわしく調べようなんて、考えないほうがいいでしょう。

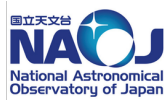
でもアルマ望遠鏡はがんばって、ディーディーの新しいわくわくするような写真をとりました。そして600キロメートルくらいの大きさであることを明らかにしました。イギリスの南北とほぼ同じですね。この大きさなら、おそらくディーディーは球形のはずです。天体が十分に重ければ、重力できれいな球形になるからです。

ディーディーについて最終的な判断を下すには、もっと多くの観測が必要ですが、それが準惑星であろうとなかろうと、冥王星には太陽から遠いところで、新しい友だちができたことになりました！

アルマ望遠鏡による日本語サイトあり

## COOL FACT

★ 太陽系でまだ見つかっていないのは、準惑星だけではありません。「第9惑星」とよばれる別の惑星が、太陽から遠いところにひそんでいるのではないかと、考えている科学者たちもいます。



More information about EU-UNAWE  
Space Scoop: [www.unawe.org/kids/](http://www.unawe.org/kids/)